



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 株式会社テクノ・セブン 上場取引所 東
 コード番号 6852 URL http://www.techno7.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 征志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 亀井 康之 (TEL) 03-3419-4411
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,557	12.3	180	41.7	183	43.8	118	74.3
2019年3月期第2四半期	1,387	1.2	127	△22.6	127	△22.8	68	△46.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 123百万円 (52.3%) 2019年3月期第2四半期 81百万円 (△62.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	80.17	—
2019年3月期第2四半期	48.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,861	2,856	74.0
2019年3月期	3,882	2,774	66.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,856百万円 2019年3月期 2,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	9.8	385	8.9	379	7.7	230	15.9	155.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	1,480,840株	2019年3月期	1,407,840株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	95株	2019年3月期	95株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	1,480,745株	2019年3月期2Q	1,407,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

2019年11月13日（水）に当社ホームページ(<http://www.techno7.co.jp>)に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、記録的な豪雨や台風などの自然災害が発生したものの、新たな令和の時代を迎え、消費税増税の駆け込み受注等により、企業収益や雇用環境の改善が進み、緩やかな回復基調が続きました。一方の世界経済は、米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題等の影響を受け、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、システム事業・事務機器事業をメインに不動産事業を加え、3事業を柱に事業の効率化、利益体質への改善を進めながら事業の拡大に努めてまいりました。

こうした結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、不動産事業の連結売上高が前年同期比減収となったものの、システム事業及び事務機器事業が増収となったことから、連結売上高は1,557百万円（前年同期比12.3%増）となりました。利益面につきましても、システム事業及び事務機器事業での利益額が増加したため、連結営業利益は180百万円（前年同期比41.7%増）、連結経常利益は183百万円（前年同期比43.8%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は118百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

① システム事業

システム事業は、システム・ソリューションやソフトウェアの設計・開発、産業機器や民生機器への組込みシステム開発、IT基盤設計・構築サービスを提供する当社の他に、子会社の㈱テクノ・セブンシステムズが業務系アプリケーション開発を行っております。官公庁関連の受注が堅調に推移したことにより、クラウド、IoTを中心としたIT基盤設計・構築サービス、組込み及び業務系アプリケーション開発の売上が拡大したため、システム事業の連結売上高は1,124百万円（前年同期比17.1%増）となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、注力顧客や成長分野へのリソースの選択と集中に力を入れて取り組んできたため、127百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

② 事務機器事業

事務機器事業は、子会社のニッポー㈱が、「NIPPPO」ブランドのオフィス用事務機を製造、販売しております。自社製品に加え協力メーカーの製品も含めて、自動紙折り機や3Dプリンタなど商品ラインアップを充実させ、更に消費税増税による主力製品タイムレコーダーの消耗品の駆け込み需要や、開発業務の受託など収益性の高い商品及びサービスを展開し増益に貢献しました。これにより、事務機器事業の連結売上高は、365百万円（前年同期比1.7%増）となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、大幅な経費削減に努めた結果、28百万円（前年同期比342.1%増）となりました。

③ 不動産事業

不動産事業は、所有賃貸不動産の稼働率維持に努めてまいりましたが、一部不動産の契約満了により不動産事業の連結売上高は68百万円（前年同期比0.8%減）となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、26百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

① 資産

総資産は、前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、3,861百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、1,454百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や預け金が増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%減少し、2,407百万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

② 負債

負債は、前連結会計年度末に比べ9.2%減少し、1,005百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ18.0%減少し、354百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3.5%減少し、650百万円となりました。これは主に、長期借入金や退職給付に係る負債が減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ2.9%増加し、2,856百万円となりました。これは主に、資本剰余金や利益剰余金が増加した一方、非支配株主持分が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月20日に開示した2019年3月期決算短信内の2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	848,146	874,160
受取手形及び売掛金	424,600	398,553
電子記録債権	56,104	44,026
商品及び製品	69,938	64,409
仕掛品	1,088	477
原材料及び貯蔵品	22,316	19,491
預け金	1,371	38,305
その他	9,689	15,140
貸倒引当金	—	△98
流動資産合計	1,433,255	1,454,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,238,064	1,250,160
減価償却累計額	△623,558	△637,292
建物及び構築物(純額)	614,506	612,867
機械装置及び運搬具	10,654	10,654
減価償却累計額	△10,654	△10,654
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	127,325	125,135
減価償却累計額	△123,617	△122,114
工具、器具及び備品(純額)	3,708	3,020
土地	1,396,494	1,396,494
有形固定資産合計	2,014,708	2,012,382
無形固定資産		
その他	5,661	4,678
無形固定資産合計	5,661	4,678
投資その他の資産		
投資有価証券	352,401	313,327
繰延税金資産	67,140	61,099
その他	8,981	15,906
投資その他の資産合計	428,524	390,333
固定資産合計	2,448,894	2,407,394
資産合計	3,882,150	3,861,860

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,913	90,157
1年内返済予定の長期借入金	100,450	19,200
未払法人税等	48,955	63,703
賞与引当金	70,885	75,156
その他	105,303	106,314
流動負債合計	432,508	354,532
固定負債		
長期借入金	378,720	369,120
役員退職慰労引当金	9,403	8,036
退職給付に係る負債	251,128	238,228
その他	35,495	35,410
固定負債合計	674,747	650,796
負債合計	1,107,255	1,005,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	643,259	831,625
利益剰余金	1,826,426	1,902,901
自己株式	△155	△155
株主資本合計	2,569,531	2,834,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,997	22,159
その他の包括利益累計額合計	16,997	22,159
非支配株主持分	188,366	—
純資産合計	2,774,894	2,856,531
負債純資産合計	3,882,150	3,861,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,387,748	1,557,784
売上原価	1,010,247	1,128,966
売上総利益	377,501	428,817
販売費及び一般管理費	249,766	247,866
営業利益	127,734	180,951
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,707	4,853
未払配当金除斥益	—	244
その他	581	625
営業外収益合計	3,289	5,722
営業外費用		
支払利息	1,800	1,477
手形売却損	612	584
消費税差額金	828	—
支払手数料	—	840
その他	10	84
営業外費用合計	3,251	2,986
経常利益	127,772	183,687
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,899
特別利益合計	—	2,899
特別損失		
固定資産除却損	—	1,338
投資有価証券売却損	12,205	—
特別損失合計	12,205	1,338
税金等調整前四半期純利益	115,566	185,247
法人税、住民税及び事業税	39,128	64,451
法人税等調整額	4,563	2,089
法人税等合計	43,692	66,540
四半期純利益	71,874	118,707
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,782	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,091	118,707

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	71,874	118,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,438	5,161
その他の包括利益合計	9,438	5,161
四半期包括利益	81,313	123,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,460	123,869
非支配株主に係る四半期包括利益	4,852	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	115,566	185,247
減価償却費	17,112	15,702
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,177	△1,366
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,145	4,270
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,501	△12,899
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	98
受取利息及び受取配当金	△2,707	△4,853
支払利息	1,800	1,477
投資有価証券売却損益(△は益)	12,205	△2,899
固定資産除却損	—	1,338
売上債権の増減額(△は増加)	73,666	38,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,692	8,964
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,622	△16,756
その他	142,074	△41,639
小計	343,936	174,810
利息及び配当金の受取額	2,707	4,853
利息の支払額	△1,844	△1,544
法人税等の支払額	△93,890	△49,702
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,909	128,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△32,908	△1
投資有価証券の売却による収入	47,496	51,089
有形固定資産の取得による支出	△417	△12,675
敷金及び保証金の差入による支出	—	△8,191
敷金及び保証金の回収による収入	—	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,170	30,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△72,100	△90,850
リース債務の返済による支出	△545	—
配当金の支払額	△42,233	△41,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,878	△132,693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,200	26,013
現金及び現金同等物の期首残高	583,350	848,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	733,551	874,160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。